

# 西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.21 2007年5月号

朝晩はまだ寒い日が続いていますが、日中は暖かい日が増えて春らしくなってきました。でも、花粉症の方にとっては大変つらい時期でもあります。実は私も花粉症で、もう10年以上花粉症の症状に悩まされています。しかもここ1, 2年は春先だけでなく、ほぼ1年中、花粉症の症状が出るようになってしまいました。(飼っている犬のせいかも……)

考えてみると、私が子供のころは花粉症など聞いたこともない病気でした。エイズにしろ、最近の鳥インフルエンザにしろ、昔はなかった病気が次から次へと出てきます。私は、病気というのは生き物の数を調整するために「自然」がしくんだ安全装置のひとつだと思っています。生き物はすべて老いて死んでいくわけですが、それだけでは数が増えすぎるかもしれないので、病気によってある程度の確立で死んでいくわけです。ところが人間は知恵がありますから、病気を克服してしまい、なかなか死にません。「自然」のほうも負けじと次々に新しい病気を発生させますが、人間はこれも次々と克服してしまい、今のように人口が増える結果となりました。「自然」がしくんだ安全装置といえば、戦争もそのひとつだと思っています。歴史を見ればわかるように、人間はもともと争いが好きです。第二次世界大戦では数千万人の方が亡くなったと言われていますが、これも人口を調整するために「自然」がしくんだ安全装置と見ることはできないでしょうか。ところが世界は一部の地域を除いて平和になり、先進国同士の戦争によって第二次世界大戦のような大量の死者が出ることは考えづらくなりました。もちろん戦争などないほうがいいわけで、これは人間にとって望ましい状況です。でも、それでは「自然」は困ります。病気は克服され、戦争も起きないため人口は増える一方です。そこで「自然」が考えたのが「少子化」なのかもしれません。女性の社会進出や、オスのメス化、メスのオス化で子供を産ませないよう、「自然」が少子化という新しい安全装置をしくんだというのは、考えすぎでしょうか。

今シーズンは薬を飲むのをやめて、花粉症にきくというハーブティーを飲んでいました。これがきいたのか、それとも飛んでいる花粉が少ないのか、今のところ花粉症の症状がほとんど出ていません。花粉症でお困りの方は一度ためしてみてはいかがでしょうか。

